



Research

①渋谷は日々、人々ににぎわっており、東京都内の中でも質の高い生活文化を形成しているターミナルの拠点として、また、先端的な若者の文化の発信地として、世界的にも有名な都市である。

②渋谷の地形も独特で、個性豊かな名前が付けられた「坂」や「通り」の1つ1つが都市空間を豊かにし、渋谷という街全体が発展して魅力ある都市になっているのではないかな。

③魅力的な都市であると同時に大都市ならではの問題も発生している。

④その問題とは、通常建物の内部で行われる行為が建物の外部や電車の内などのいたるところで発生していることである。

たとえば、

- ・道端にすわり込む行為
- ・路上でダンスをする行為
- ・路上ライブをする行為
- ・電車内で化粧をする行為
- などである。

これらは渋谷でなくても大都市では発生しているが、この状態は、建築の（内部）の機能と道（外部）の機能とが逆転していると、考えることができる。

⑤その原因として考えられるのは、人工密度の高い大都市はどこを歩いても「群衆」が目に入ってくるので、都市空間または建築空間を、「人間のアルバイト」の範囲でしか認識していないからであると考えることができる。この「非常識な行為」が発生することによって都市空間の良さは半減してしまう。

⑥この建築内部で行われる行為が外部へあふれ出る問題は深刻だが、独特な地形、文化を持つ都市「渋谷」なら、この問題を解決し、さらに都市空間を発展させることができる建築を提案することができるのではないかな。

私の卒業設計は建築的手法で、大都市に見られるデメリット（問題点）をメリット（良い点）に変化させ、さらに都市をより良いものにしていこうということが最大の目的である。

⑦ 大都市は、集客力のある施設と、駅とが切れ間なくつながり、街全体が1つの商業施設のように感じる。それに加えて渋谷は独特な地形により、小さな道や隙間が様々なレベルで数多くあり、都市空間を立体化させてる。オフィスビルや高層マンションなどに見られる水平スラブがきれいに積層された建築空間を作るのではなく、建築内の道や隙間を立体化し、街路が建物内部に存在するような建築空間を目指す。

Concept

都市の中における中高層建築物の「外部空間」について、低層を1～2F、中層を3～5F高層を6F以上と定義する。

建築は都市に根付くものであって、

「単体で街と関係なく存在している現代の中層建築」に疑問を持った。

都市には、歴史文化があり、様々な背景を持った上で存在している。

都市に建つ建築がうまく都市と調和し、都市の一部になることによって、建築の新たな可能性が生まれるのではないかな。

公共建築を設計するにあたり、この都市の要素をうまく建築の空間に応用し、

「外に開けた、都市に根付いた新たな公共建築を提案する。」

～都市の中における中高層建築物の「外部空間」について～ 一般的な外部空間のかたち

① オフィスビル



② 商業施設



③ 集合住宅



- ・オフィスビル、商業施設、集合住宅を含め、中高層建築には外部空間が視認できない建物が多く見られる。
- ・都市は基本的に①、②、③でできている。

海外、国内の歴史ある街並みに着目



街並みにおける重要な要素をいくつかピックアップ

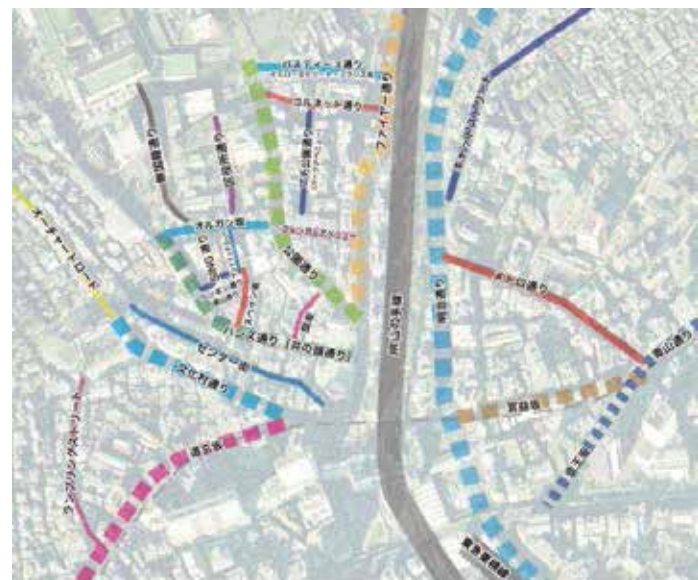


■豊かな都市の街並みで見られる特徴

- ・必ずと言っていいほど、豊かな外部空間が存在する。
- ・外部空間は**広場**、**散歩道**、**露店**など、**にぎわいのある空間**となっている。その空間は、都市の**にぎわいの中心**となっていて、**コミュニケーションの場**、**休憩する場**などという多くの機能がある。



■渋谷について → 渋谷の街路空間には「名前」がついている。



・せまい道や急な坂など、マイナスに見られがちなものに名前を付けることによって、**プラスのイメージ**やその路上空間に個性が生まれている。

渋谷のような街路が魅力的な都市に、その都市の要素を立体的に配置した建築を設計する。



A：渋谷道玄坂・文化村通り周辺イメージ
買い物の利便性がメインだがビジネスシーンでの利用も見られるエリア。

B：渋谷センター街・公園通り周辺イメージ
買い物に便利だけでなく、話題性・個性がある、渋谷の象徴的なエリア。

C：宮益坂周辺イメージ
ビジネスのイメージが強いエリア。
また、渋谷の中では落ち着いたイメージを持つ。

・渋谷利用者数

渋谷ハチ公前広場周辺



1週間来街者数145万人

渋谷駅東口広場周辺



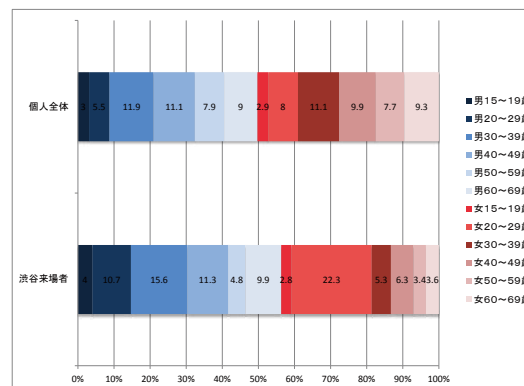
1週間来街者数69万人

渋谷駅南口広場周辺

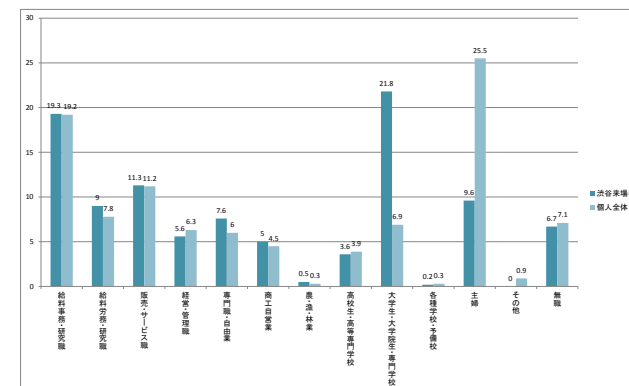


1週間来街者数54万人

・渋谷街来者 年代別構成比

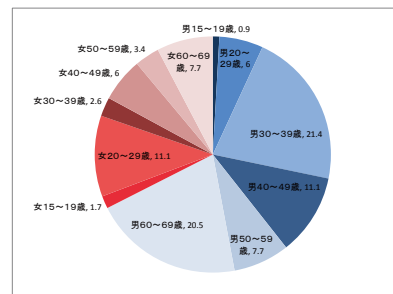


・渋谷街来者 職業



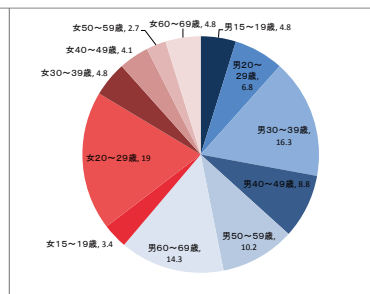
③渋谷駅南口広場周辺

20～40代の男性が目立つエリア。
ビジネスシーンでの利用の多さが
見受けられる。



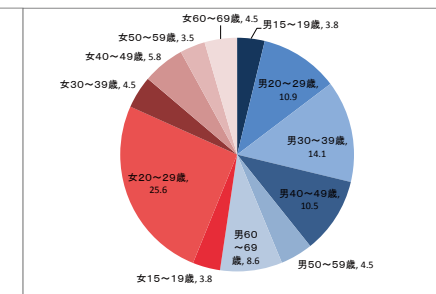
②渋谷駅東口広場周辺

30～40代の男性が目立つエリア。
20代の女性の利用率も高い。



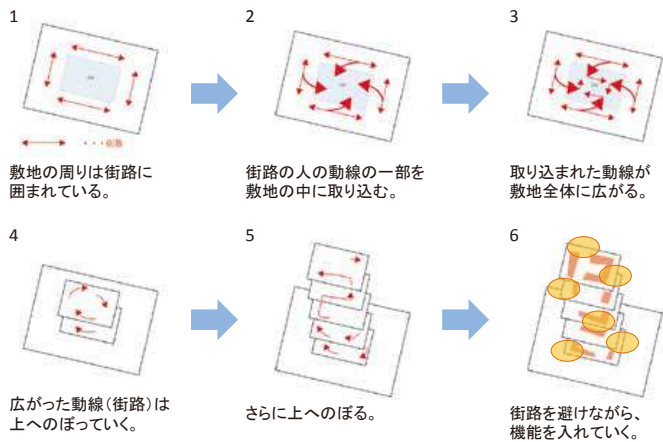
①渋谷ハチ公前広場周辺

男性・女性20代が多く利用するエリア。
男性はまんべんなく利用。



■設計手法

「広場」「路地」「街路」などを**立体的**に建築空間に配置する



Program

1. エントランスホール
2. カフェ・読書スペース
3. 老人娯楽施設・ダンススクール
4. ハローワーク
5. 起業家スペース
6. レストラン・ワークショップ場
7. 展示スペース
8. 外部空間

Target

- ・路上にいる人々
- ・起業家
- ・若者
- ・高齢者
- ・子供

■路上で活動する人たち

- ・路上ライブ



- ・露店・フリーマーケット



- ・路上でパフォーマンス

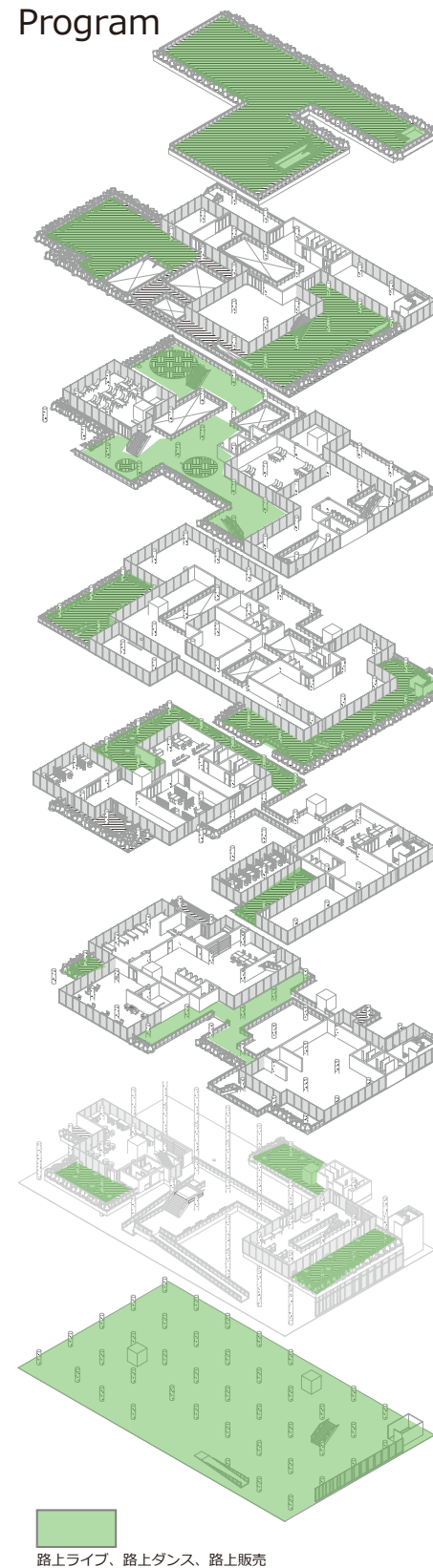


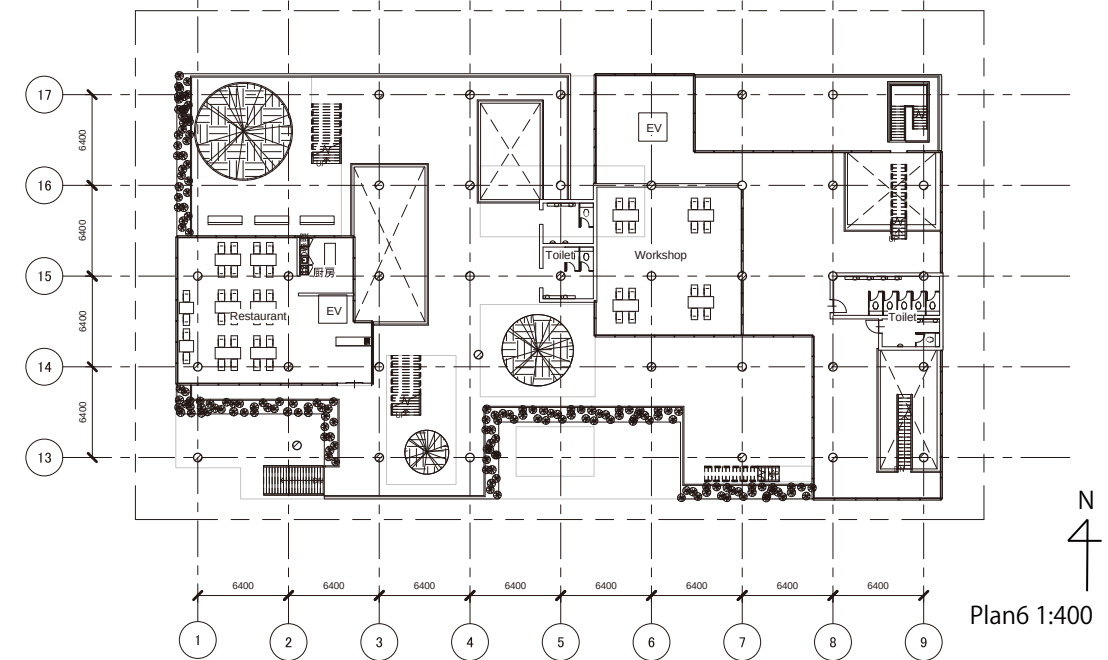
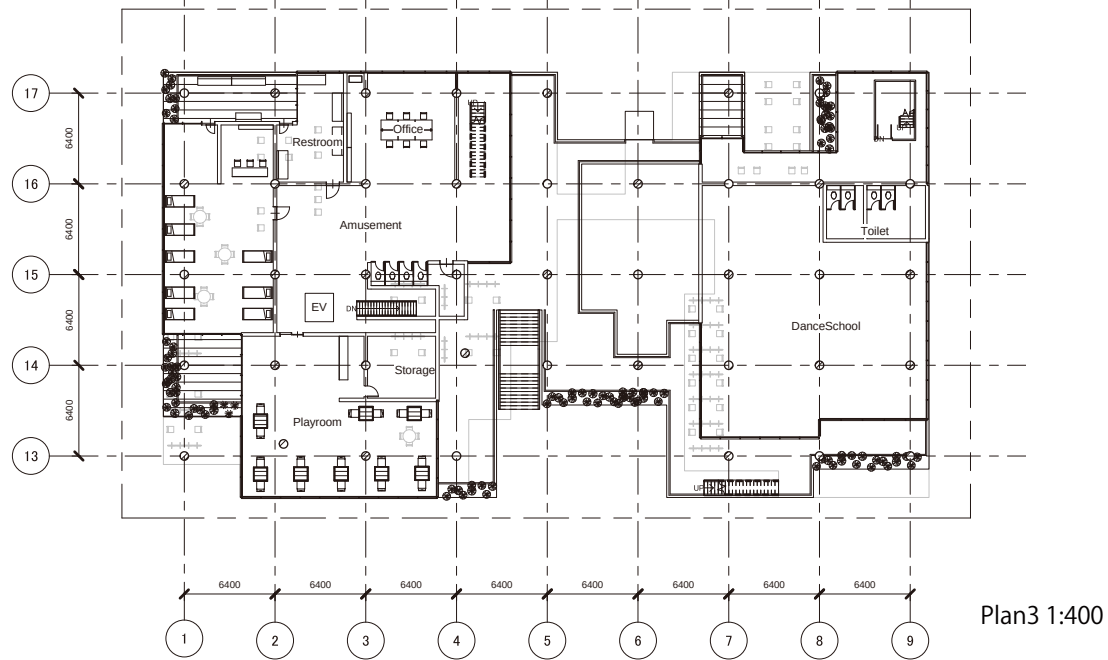
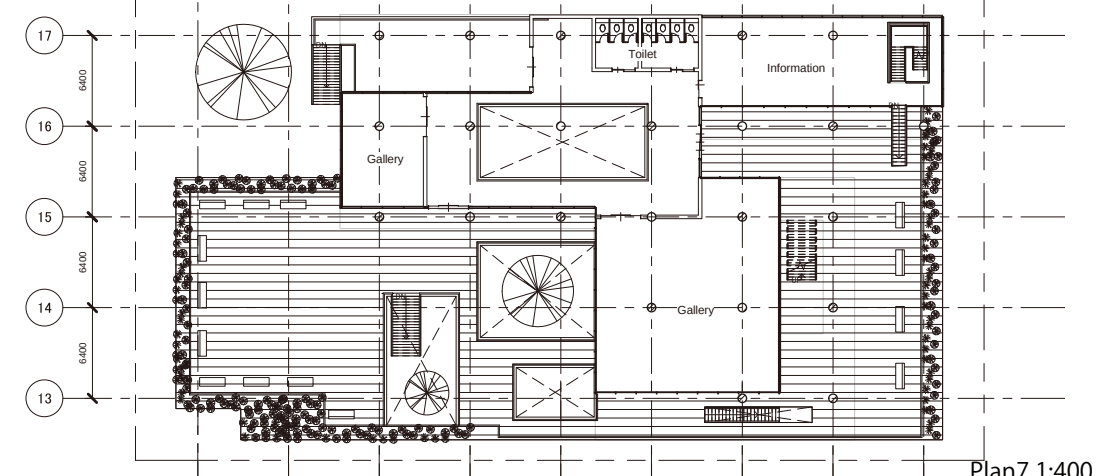
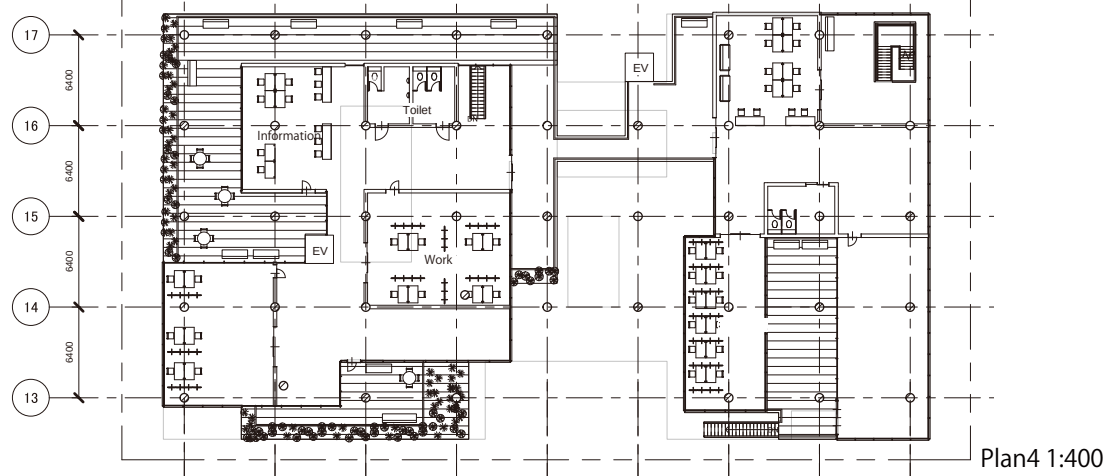
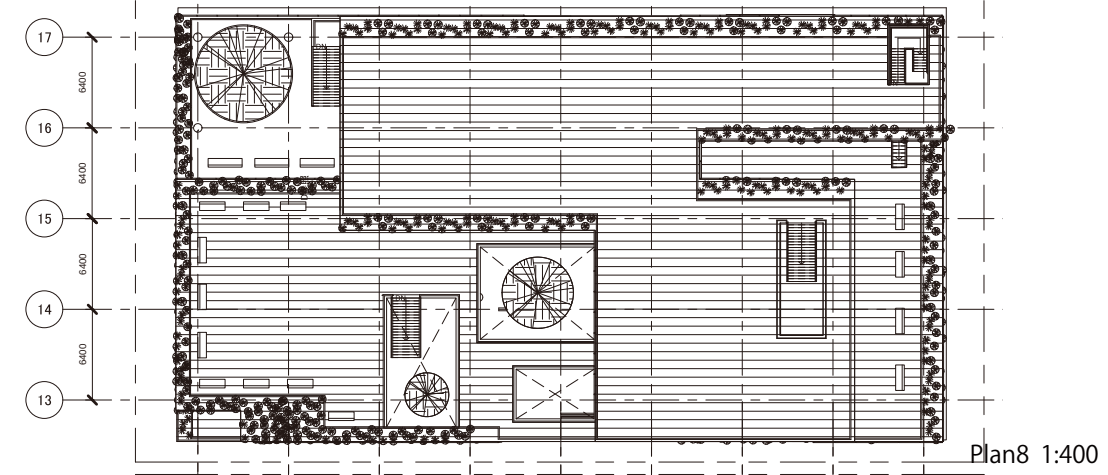
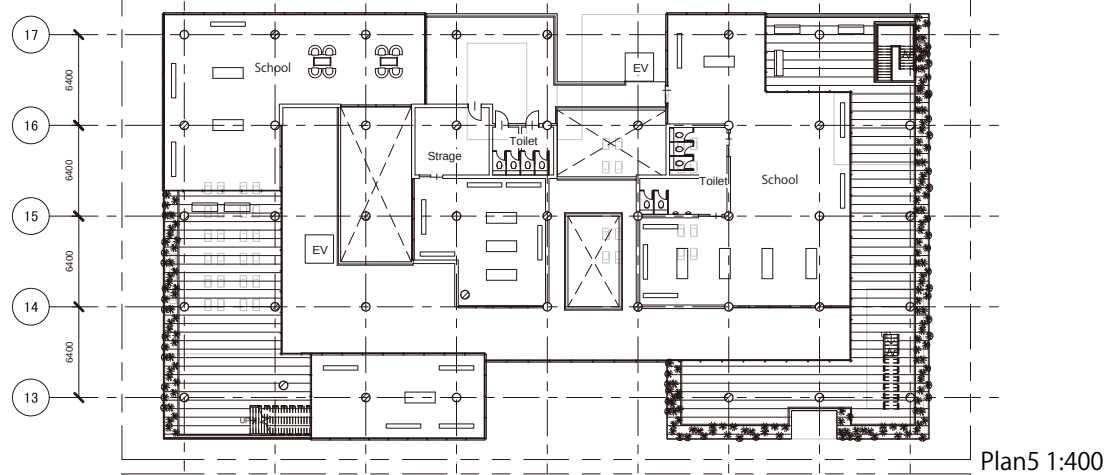
- ・路上でダンス

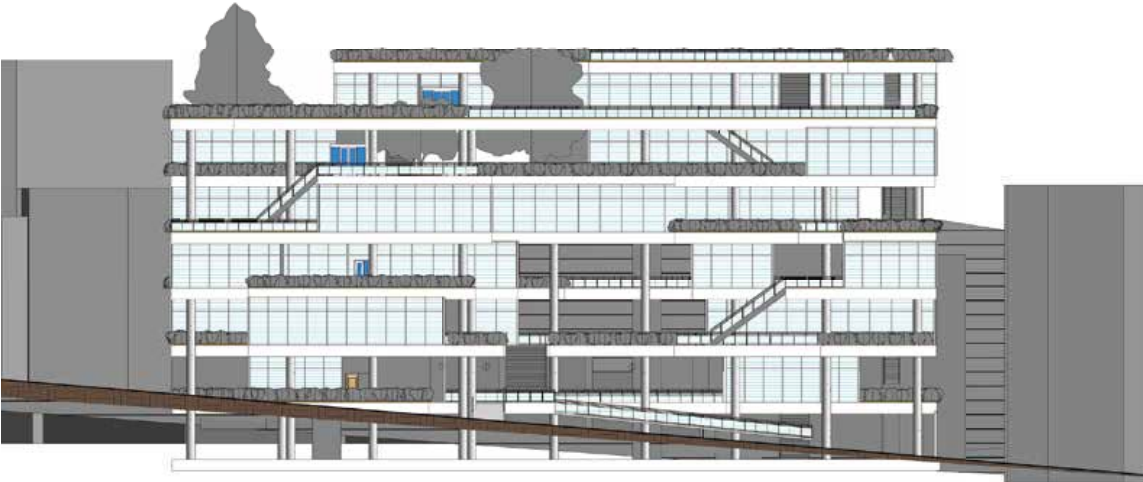


このような人々が利用できるような外部空間を立体的に建築に应用する。

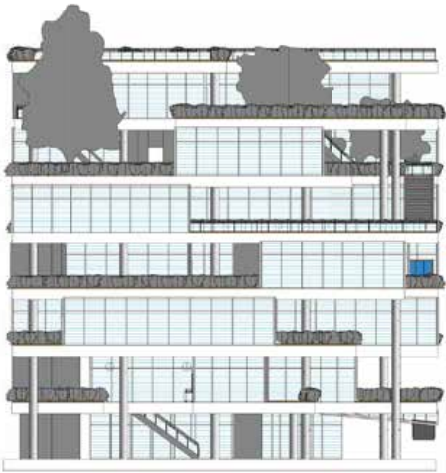
Program



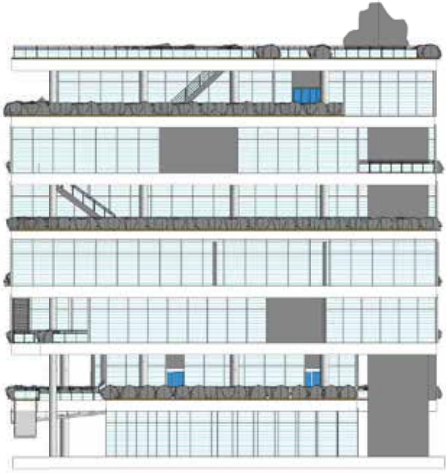




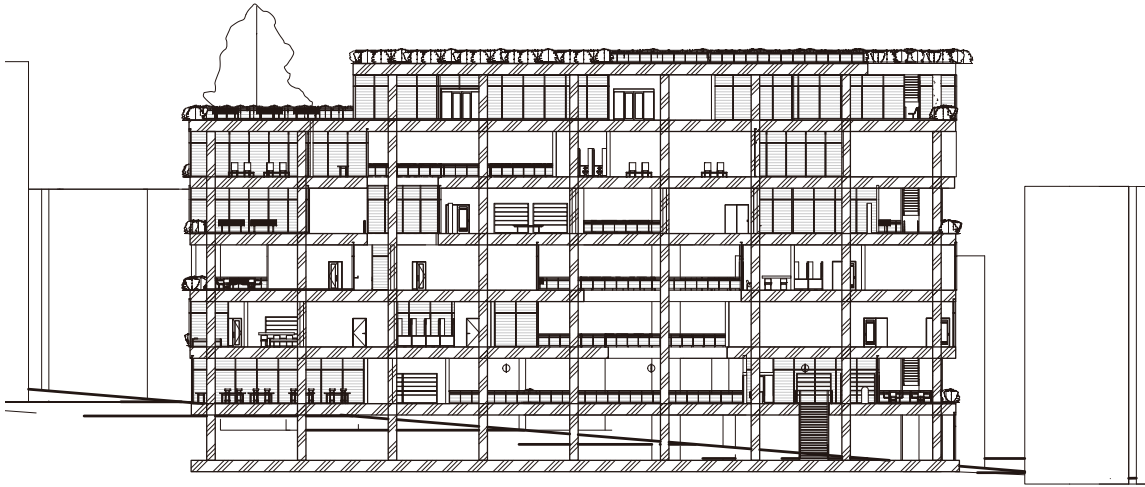
Elevation South 1:400



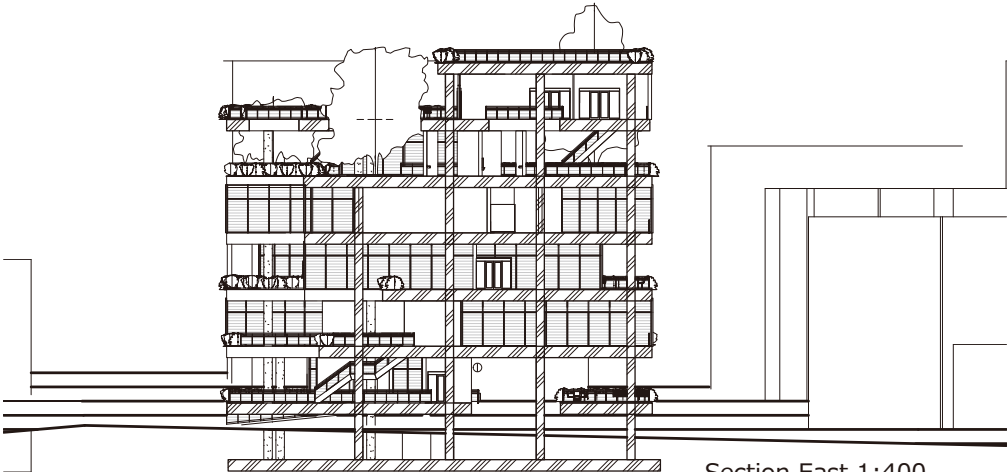
Elevation West 1:400



Elevation East 1:400



Section South 1:400



Section East 1:400

